

## 令和4年度 茅ヶ崎養護学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

## ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
不祥事を自分事として考える	不祥事がなぜ起きるか、職場で気を付けるべきことを理解する。	不祥事とはどうやって起きるのかについて、ビデオ視聴し、自分の行為について振り返りを行った。不祥事を起こさないという意識の向上を図ることができた。
性被害について考える	性被害の影響について理解を深める。	性被害が子どもたちに与える影響を知り、性被害に関する認識を高めることができた。
わいせつ・セクハラ の防止	適正なコミュニケーションと人権尊重意識向上を目指す。	わいせつ・セクハラについて、言動や自分の行為について振り返り、人権意識を高め、職場全体で適正なコミュニケーションを意識した行動をとるという意識の向上ができた。
体罰、不適切な指導の防止	教育公務員としての自覚と法令順守意識の向上を図る。	児童生徒に対する発言や行動が、児童生徒の気持ちを傷つけることにつながりはしないか、認識のあまさから不適切な指導を行っていないか検証し、意識を高め、日頃の児童生徒指導に活かすよう努めた。
情報セキュリティ	情報セキュリティーに関する理解を深める。	情報セキュリティー基準を確認し、電子メールの送信や情報漏洩が起きないように、認識を高めることができた。
行政文書の取り扱い	行政文書の取り扱いに関する基本を確認する。	行政文書とは何かを確認し、職務上の責任や日頃の文書の取り扱いについて間違いを起こさない行動に努めた。
職場のハラスメントの防止	ハラスメントへの理解を深め、適切なコミュニケーションへの意識を向上させる。	パワーハラスメントについて、職場での言動を振り返り、適切なコミュニケーションへの意識の向上に努めた。

○ 令和4年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和5年度に取り組むべき課題  
(学校長意見)

不祥事を起こさないという意識を高められるよう、ミスが起きたら報告、それがどうして起きたかを検証、検証結果は全体に伝えることに取り組んできた。この過程でどんな手立てや工夫が必要だったかを導き出せる。

令和5年度に取り組むべきこととして、障害に対する専門性を向上させつつ、高い意識をもって体罰・不適切な指導の防止に取り組む。また、職員同士が注意し合える同僚性の向上に取り組む。